

日本スピリチュアルケア学会
 人材養成プログラム認定
 1. 基礎データ

申請年度：2021年度

組織名(和文) *必須	NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば
組織名(英文) *任意	Association for Spiritual Care in Chiba
代表者氏名	佐藤 俊一 E-mail:
事務担当者氏名	吉田 洋二 E-mail:
組織所在地	千葉県千葉市中央区東千葉1丁目1番地1 日下医院内 電話: 080-3022-9331 E-mail: info@spiritualcare-chiba.org
設立年	2016年
沿革	「スピリチュアルケア研究会ちば」は、その前身「スピリチュアルケア・ささえの会」(2005年3月設立)に端を発する。「ささえの会」では、スピリチュアルケアの啓発とボランティアによる傾聴活動を行っていた。2016年11月、医療、看護、福祉、教育、行政などの専門家に対するスピリチュアルケアの養成と志ある一般市民へのスピリチュアルケア研修との二つを目指す組織として「スピリチュアルケア研究会ちば」を設立した。2017年10月、スピリチュアルケアのより広範な啓発・普及のため、NPO法人となり、講演会、公開講座、連続研修講座、臨床実習を開催しながら、また他機関・団体との連携をとりつつ、今日に至っている。
組織の目的、ミッション・ステートメント等	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療・福祉、教育、心理などあらゆる分野の専門職、また志のある市民を対象に、スピリチュアルケアの人材養成を行う。 2. スピリチュアルケア師の養成、講座開設を目指す。 3. 連携する関係機関と協力して、臨床実習の場を提供する。 4. 千葉という地域を基本とし、また広く社会一般に対して、スピリチュアルケアの啓発活動を行う。 	

2. 教育担当者一覧

1) グループワーク、スーパーヴィジョン、演習 等担当者

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	窪寺 俊之 Kubotera Toshiyuki	2016年 男	グループワーク臨床 臨床スーパービジョン
2	佐藤 俊一 Sato Shun ichi	2016年 男	グループワーク臨床 臨床スーパービジョン
3	木村 登紀子 Kimura Tokiko	2016年 女	グループワーク臨床 臨床スーパービジョン
4	伊藤 高章 Ito Takaaki	2021年 男	グループワーク臨床 臨床スーパービジョン

2) 講義科目等 担当者

	氏名 NAME	就任年 性別(年齢)	主担当科目(2科目まで)
1	窪寺 俊之 Kubotera Toshiyuki	2016年 男	スピリチュアルケア原論
2	佐藤 俊一 Sato Shun ichi	2016年 男	対人援助論1
3	木村 登紀子 Kimura Tokiko	2016年 女	対人援助論2
4	日下 忠文 Kusaka Tadafumi	2016年 男	精神医学とスピリチュアリティ
5	手塚 一朗 Tezuka Ichirou	2016年 男	宗教とスピリチュアリティ
6	伊藤 高章 Ito Takaaki	2021年 男	対人援助論3
7			
8			
9			

3. 人材養成教育領域 充当表

時間	科目名	他団体から借入科目の場合は提供団体名／
＜基礎領域＞		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。	
	本科目については、各受講者が大学等において単位修得したものを充当させる。	
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターナリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	
	本科目については、各受講者が大学等において単位修得したものを充当させる。	
＜専門領域 A＞		
スピリチュアリティ論 24 時間	思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育	
6 6 6 6 6 6	スピリチュアリティを誰もが有することを基本に置き、宗教、社会、思想、文化などの歴史性・多様性に基づいて多角的に学ぶ。そうした中で、なぜスピリチュアリティが求められているのかを受講者が明確にできるようにする。 宗教とスピリチュアリティ 臨床哲学とスピリチュアリティ 現代社会とスピリチュアリティ 保健医療とスピリチュアリティ 精神医学とスピリチュアリティ 臨床心理学とスピリチュアリティ	
スピリチュアルケア論 24 時間	援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育	

	スピリチュアルケアの実践の場を広く捉え、個々が自分らしく生きられるように保健医療、社会福祉、心理、教育などの臨床現場においてスピリチュアリティを目覚めさせ、受講者が相手と相互に自律した生き方ができるケア論を学ぶ。
6	スピリチュアルケア原論
6	対人援助論1
6	対人援助論2
6	対人援助論3
〈専門領域B〉	
グループワーク	心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育
臨床スーパービジョン 60/120 時間	スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育
30	<p>グループワーク臨床 社会・心理的次元に止まらず、スピリチュアリティの次元でおこる課題へ取り組む力を実践的に学ぶことを行う。そうした中で、人にかかわる力を身につけ、個々の尊厳を守るケアを教育する。</p> <p>臨床スーパービジョン 第3者としてでなく、ケアする本人が究極の事例という理解に基づき、自分を使うことによってスピリチュアルケアを実践できるように課題を明確にし、取り組めるようにする。</p> <p>スピリチュアルケア連続研修講座 グループワーク臨床（公開講座のグループワークを含む）</p>
30	臨床スーパービジョン
臨床実習 120/240 時間	スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。
48	臨床現場実習（病院などの医療機関や福祉施設などにおいて、継続的に臨床実習を行う。）
48	臨床現場実習Ⅰ
48	臨床現場実習Ⅱ
24	臨床現場実習Ⅲ
24	臨床現場実習Ⅳ
8	上記Ⅰ～Ⅳの各段階において、臨床スーパービジョン(各2時間)を受ける
	集中臨床実習・演習（遠隔地への宿泊を伴う訪問実習、病棟や入所型施設での集中型臨床実習など。事前学習および事後レポートを作成して指導を受ける。）
16	集中臨床実習・演習Ⅰ
16	集中臨床実習・演習Ⅱ
16	集中臨床実習・演習Ⅲ
	以上の、現場/集中型の臨床実習の中から、実習生の個々のニーズを査定/勘案/指導

のもとで臨床実習を組み立て、120時間を達成する。

〈専門領域C〉 ※参考記載

スピリチュリティの涵養

援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育

- 3 講演会(年1回開催)への参加、事後レポートの提出
- 6 公開講座(講義とグループワーク)(年2回開催)への参加、事後レポートの提出
- 3 会員交流会(年1回)への参加、事後レポートを提出し、指導を受ける

継続教育

臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育

- 6 連続研修講座にオブザーバーとして参加、振り返りをして、指導を受ける。
 - 6 公開講座、会員交流会にグループファシリテーターとして参加し、事後レポートを提出し、指導を受ける
- 臨床現場(連続研修講座におけるオブザーバーを含む)での実践について、事例報告書・会話記録を作成し、指導を受ける。他認定教育プログラム修了生も受け入れ、一般社団法人 SaCRA と提携して学会の指導資格者が実施。